

石井知事のマニフェスト(公約集) 世界に羽ばたく「元気とやま」の創造



未来とやま

- 子育て支援のサポート体制づくり
→一時保育、延長保育のニーズを早期に充足
- 家庭・地域の教育力の充実、少人数学校教育の充実
- 若者・女性・熟年世代の起業・ボランティア活動の支援
→とやま起業未来塾(仮称)を創設
- 女性の活躍する場の拡大
→審議会等の女性委員の割合を1/3に拡大
- 芸術文化・学術の振興
- 景観創出など美しい県づくり

活力とやま

- IT、バイオ、深層水などを活かした新産業の育成・創出
- 新規開業の促進、産学官連携の推進
→年平均3,000件の新規開業を達成
- 中小企業との緊急対話と支援
- 「とやまブランド」確立と農林水産業の振興
- 北陸新幹線などの交通基盤の整備
- にぎわいのあるまちづくり、商業・サービス業の振興
- 広域・国際観光の振興
→外国人宿泊客数を概ね1.5倍以上に



安心とやま

- 小児医療の充実、医療・消防の連携による救命率の向上
- 健康づくりとスポーツの振興
→運動習慣者の割合を30%以上に
- 介護保険・富山型デイサービスなど地域総合福祉の充実
→特別養護老人ホームの入所待機者ゼロを目指す
- 高齢者、障害者、子供にやさしいバリアのないまちづくり
- 循環型社会の構築
→一般廃棄物リサイクル率を概ね25%に
- 防災・危機管理体制の整備、犯罪のないまちづくり
→自主防災組織の組織率を6割以上に

●県政運営の5つのポイント●

- オープンでわかりやすい県政
- 県民の自立と幸せの重視
- スピード重視の県政
- 現場重視で効率的な県政
- 「とやまから日本を変える」

※数値目標は平成20年までのもの

皆さんからのご意見・ご提言を募集します

- はがき・手紙の場合 〒930-8501 (住所記載不要) 県庁広報課「知事への意見・提言」係
- インターネットの場合 <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/teigen.htm>

いただいたご意見・ご提言は、検討のうえ、県政に反映します。なお、知事自らが各地に出向いて県民の皆さんと直接対話する「タウンミーティング」を開催しています。今後の予定は、新聞広報などでお知らせします。

●特集についての問合せ・ご意見は 県庁広報課 ☎076(444)3134

石井隆一知事のプロフィール

- 昭和20年 富山市生まれ。東京大学法学部卒業
- 昭和44年 自治省入省。石川県、北九州市、静岡県などを
経て、平成6年自治省財政局財政課長
- 平成 7年 地方分権推進委員会事務局次長、
総務省自治税務局長等を歴任
- 平成14年 1月 消防庁長官(平成16年1月退官)
- 平成16年11月 富山県知事に就任(平成15年から早稲
田大学大学院客員教授)
- 趣味 ジョギング、サッカー、演劇・音楽鑑賞など

平成16年11月9日 石井県政が スタートしました



県民と共につくる「元気とやま」

富山県知事 石井隆一

このたび、県民の皆さんのご支持をいただき、十一月九日に富山県知事に就任いたしました。県民の皆さんからお寄せいただきました負託と信頼におこたえするため、富山県の発展と県民の幸せのために全力を尽くしてまいります。

今、時代は大きな転換期にあります。国も地方自治体も財政危機が一段と深刻化する中で、グローバル化、少子・高齢化がさらに進行しています。また、富山県をはじめ多くの地方では、依然として景気の停滞感が強く、経済社会や国民生活の活力が低下しています。

これからの地方は、国に依存し、追従するのではなく、自らが主体性をもって中長期の視野に立ち、地に足がしっかりとついた政策を勇気をもって果敢に実行していかなければなりません。幸い、富山県には、勤勉で進取の気性に富む県民性、素晴らし

い産業基盤、美しく豊かな自然、先人の努力により積み重ねられてきた歴史や文化など、国内外に誇りうる優れた基盤があります。私は、これらの基盤を活かし、もっともっと元気な富山県をつくりたいと思います。このため、「活力」「未来」「安心」をキーワードとする三十五の施策を推進するとともに、行財政改革を積極的に進め、世界に羽ばたく「元気とやま」の創造に全力を傾注してまいります。また、こうした施策を実現するため、「県民参加によるオープンでわかりやすい県政」「県民の自立と幸せを重視する県政」「スピード重視の県政」「現場重視で効率的な県政」「とやまから日本を変える」改革と創造の県政の五つの基本姿勢に立って、県民の皆さんと共に県政を推進してまいります。

県民の皆さんのご理解、ご協力を心からお願い申し上げます。